

桝谷精工株式会社

プレスブレーキの設備更新による生産性UP及び省エネ化

機械導入で生産能力を劇的にアップ、多種少量短納期化を目指す



補助事業

今後の顧客ニーズの多様化を見据え 最新のプレスブレーキで多種少量短納期化を促進

「桝谷精工」の事業の一部である板金部品加工は、金属製の板材を切断、穴あけ、曲げ、溶接、組立などの過程を経て製品として仕上げる加工方法である。同社が使用している加工設備は、設置してからかなりの年数が経っていて、加工前の金型のセットや、機械の調整作業に時間を要するデメリットがあった。顧客からの受注が同社の生産能力を超えるほど増加していることも考慮し、最新設備を導入することを検討した。

曲げ加工で使用する最新のプレスブレーキ(板金機械)を導入すると、加工データの入力時間の短縮と、加工作業時間のスピードアップが見込め、作業の中でも熟練性の高い工程の能力を上げることができる。今後の

顧客ニーズの多様化も見据え、加工スピード、加工精度、安全性、エネルギー効率を上げ、さらなる多種少量短納期化を目指すために、同事業を実施した。

今回プレスブレーキ「ハイブリッドドライブベンダーHG8025」(アマダ)を導入した結果、これまで課題であった金型のセットや機械の調整作業などの段取り時間、製品の加工時間を大幅に短縮することができた。また故障に対するリスクの軽減、設備の補正能力と加工能力の向上、不良軽減など、多くのメリットが挙げられる。さらに指を挟むなど、作業中の危険性を事前に検知するレーザー式安全装置によって、作業者の安全性も向上することができた。

成果

工程の一部の作業時間が90%も短縮に 高品質の製品をスピーディーに供給

今回の設備導入において特に高い成果として挙げられるのが、加工データの作成と金型交換時の作業時間短縮である。加工データの作成に関しては、画面操作で過去のデータを容易に呼び出せるため、入力時間がかなりの割合で短縮された。金型交換時の作業時間では、簡単な加工でも旧型機では平均350秒掛かっていたが、新型機では平均40秒と87%近くも短縮。複雑な加工においては、90%を超える場合もあった。しかも省エネ化と生産コストの低減も可能となったことから、従業員の給与にその効果が反映。給与総額が平成26年度から平成27年度で17.5%アップしている。



今後の展開

得意分野の「多種少量生産」を強化して 顧客のニーズに対応、受注拡大を図る

同事業を導入し、機械の動作速度が今までの2倍以上になったことから加工速度も2倍以上になり、もちろん生産性も大きく向上している。併せて動作精度も上がり、高品質の製品がスピーディーに供給できるようになった。

同事業に期待していた成果を実現したことで、今後は「多種少量生産」という同社の得意分野をますます強化していきたいと考えている。同時に、顧客からの多種多様な注文に応えられるようにするとともに、設備の特長を生かして、より細かいオーダーにも対応。顧客との信頼を深め、今後の受注拡大を図る。



ジェットストッカー製作や 製品の一貫生産体制が売り

昭和42年に鉄鋼業としてスタートし、昭和54年に会社設立。現在は自社製品のジェットストッカー(自動収納棚)等をはじめとする、産業用省力機械の設計および製作、業務用空調機や機械部品の製造を行っている。また顧客のニーズにワンストップで応えるべく、製品の企画・開発・製作・納品まで、一貫生産体制にも強いこだわりを持つ。



管理係係長
白井 一郎



桝谷精工株式会社

代表者/代表取締役 桝谷 将秀
設立/昭和54年
資本金/5,987万5千円
従業員/95人
事業内容/産業用省力機械の設計および製作、業務用空調機および機械部品の製作

〒649-6312 和歌山市川辺416-1
TEL.073-462-5011 FAX.073-462-5066
URL <http://www.msk-w.co.jp>
Mail.msk@msk-w.co.jp